

## 平成26年度

### 公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会 事業報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

定款第2章第3条の目的達成のため第4条の事業を「杉山総検校和一の遺徳の顕彰に関わる事業」と統括して以下の事業を実施。

#### 1 学術研究に関わる事業

##### 1. 学術講習会：3回開催、神社本殿

「生きたツボの取り方」 6月8日、7月13日、10月5日

講師：形井秀一先生 筑波技術大学鍼灸学教授、日本経穴委員会委員長

講演資料：「筑波並木点訳の会」支援作成。

受講者：60名余

##### 2. 春の交流会：1月18日 神社本殿 参加50名余

杉山鍼灸治療所開設1年の研修報告 (理事) 中原誠策

新春琵琶演奏・都穂鳳先生 「杉山和一先生」「うつぼざる」

##### 3. 鍼灸講習所の復興(杉山鍼灸治療所研修)：毎日曜日、50日開設

指導担当12名、研修生13名ならびに見学実習10数名が研修。

実習料は全て建設資金として寄付。

#### 2 情報提供に関わる事業

##### 1. 広報「杉山」の年4回発行と配布：4月、7月、10月、1月

点字版・墨字版各300部を配布した。

墨田区ボランティアセンター「点訳きつつき」の支援で発行。

##### 2. 機関誌『敬神暦 一暮らしとこよみ』発行：「平成26年版」

9月に3,000部刊行し、実費配布。

##### 3. 杉山検校に関わる遺著の刊行

(1) 啓発図書『杉山和一』目の見えない人たちを救った偉人

1,000部刊行し、残部20部となっている。再版が必要か。

(2) 編集発行できなかったものは次年度に計画する。

(3) チャリティー「和一寄席」 2月8日 江戸川区舟堀タワーホール  
宮田章司 「江戸売り声」、 講談、 南京玉すだれ、 ジャグリングなど  
350名余来場。

### 3 顕彰に関わる事業

#### 1. 「第84回杉山検校を偲ぶ会 ―鍼管感謝の礼―」

5月18日(日) 江島杉山神社本殿 参加35名余  
式典「鍼管に感謝する礼」実施後、三味線演奏・熊田 實・篠塚 栄吉両氏出演。  
午後から情報提供交流会

#### 2. 第35回鍼に感謝する集い(鍼供養祭)

9月28日(日)、萬徳山弥勒寺、 参加30名余。  
日頃使用している治療鍼に感謝の供養ならびに和一墓前法要。  
都穂鳳先生による琵琶奉納演奏 「杉山和一先生」「大高源吾」

#### 3. 「第9回サイトワールド」への参加：

11月3日(文化の日) 墨田産業会館サンライズホール  
講演：盲偉人を支えた女性の存在～杉山和一と埴保己一の良き理解者とは～  
講師：和久田 哲司(公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会理事長)  
齋藤 幸一(公益社団法人温故学会理事長)  
共催：公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会、公益社団法人温故学会  
史料展示および墨田区、江東区など計5名の協力を得て「ツボ体験コーナー」  
(ワンコインマッサージ)を開催。体験者は計124名。

#### 4. 史跡並びに古文書などの公開

- (1) 惣録屋敷史跡「施設江島杉山神社」見学者への公開：杉山検校の遺徳の解説、弁天修行の岩屋など史跡ならびに鍼灸・あん摩に関する古医書などを公開するとともに、萬徳山弥勒寺の杉山検校墓所および鍼供養塔を紹介して、遺徳の顕彰の啓発に努める。筑波大学特設理療科教員養成施設、筑波技術大学鍼灸学専攻の学生などが多数見学。
- (2) 史跡保存維持：江の島の史跡和一墓所および高野山金剛峯寺の和一墓所、ならびに弥勒寺の和一墓所・鍼供養塔の保存・管理(墓石の修理および墓敷地の整備を行う)。

#### 5. 顕彰活動支援

- (1) 各会員グループへの支援

(2) 友好団体との顕彰活動

○神奈川県鍼灸マッサージ師会主催「杉山検校報恩会」との交流：

5月藤沢市江の島の史跡地において

○東京都盲人福祉協会福祉大会での啓発：10月

6. 郷土文化活動への協力・支援

(1) 施設の運営支援：江島杉山神社の運営について地元町内会を支援し  
地元と交流を深める。

(2) 地元文化支援事業：神社が企画する行事を支援する。

○4月26日・27日 イベント「両国にぎわい祭り」に参加。

江島杉山神社本殿にて古書・史料などを展示公開。

ツボ体験コーナー(ワンコインマッサージ)を設け杉山鍼灸治療所を開  
放。2日間で計176名がツボ体験コーナーを利用。

○ 神社行事に随時参加。

4 その他

1. 理事会：定時理事会3回、評議員会2回開催。

2. 杉山和一生誕400年記念実行委員会：第20回(6月)開催。

建設地と設計図面などを町内会と検討し、JKAおよび日本宝くじ協会へ  
建設助成を要請する。JKAへの申請は建築趣旨が適合せず申請を断念す  
る。日本宝くじ協会には10月10日付で申請書を提出する(採択結果  
は27年度4月以降)。

以上